

内視鏡画像診断支援 AI(人工知能)の 開発研究に参加しました

当院では、株式会社 AI メディカルサービスが進めている内視鏡画像診断支援 AI(人工知能)の研究開発に検査画像と医師の診断データを提供し、共同研究という形で、2019年2月から2021年5月までの期間に参加しました。これまで、比較的わかりやすい大腸ポリープに対するAIは欧米や日本の医療機器メーカーからも実用化されてきましたが、本研究は主に胃がんを検出するAIの開発が目的とされ、これが実用化されれば、胃炎に紛れてわかりにくい病変の検出や、一人につき何十枚と撮影された内視鏡画像を読影する医師の負担も軽減されるとして、大きな注目が集まっています。これまでの試験で、AIのがんの検出率は90%以上とされ、内視鏡医とタッグを組むことで、より正確な内視鏡検査が可能となることでしょう。がんの死亡率で、毎年上位に入っている胃がんですが、AIの導入により胃がんで苦しむ人たちが少しでも減ることを望んでおります。



共同研究連携施設 認定フレーム

株式会社 AI メディカルサービス HP : <https://www.ai-ms.com>